

表紙に使用している画像は、小川和紙の「七夕紙」です。漉き船にカラフルな折り紙を混ぜて漉きあげます。和紙一面に散った折り紙の短冊が小川町七夕まつりをほつぷりとさせます。和紙に合わせてあしらった2色は天色と向日葵色。晴天の澄んだ空と日差しを浴びたひまわりの広大な自然をイメージしました。

新町長に
インタビュー!!
初議会の
自己
採点は **70点**
道の駅リニューアルに
懸ける思い

P.2-3

新生議会が始動
白熱する議論
賛否が分かれた
2議案

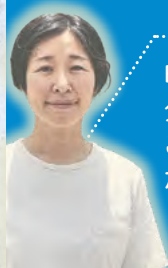
P.3-4



第74回小川町七夕まつり（裏表紙に関連記事）

おがき 2022 6月定例会 No.104 おがき 埼玉県小川町議会

わたしのひとこと



町の方々の声は自分たちの住む町のことを考えるきっかけになります。
高橋桃子さん

町民の声
「聴きます×つなぎます」

P.12

人の輪の強さや、温かさを感じる小川町を大事にしていきたいです。
木島大介さん



P.5~
歩いて・見て・聴いた

一般質問

13の視点

2人の新議員も登場

新 町政がスタート！ 就任早々で

会期中の全員協議会において、「道の駅おがわまち再整備基本計画」の一部改訂が示されました。変更は、以下の2点です。



改訂前の「道の駅おがわまち再整備基本計画」
(小川町ホームページ)

point 道の駅 再整備

変更点 1

20年間で3億円の支出上限

社会経済情勢を注視する中で、効率的かつ効果的な事業執行に努めることとした。
(整備に係る総予算は未定)

上限額の廃止

point 道の駅 再整備

変更点 2

再整備工事の終期
令和6年3月末

令和6年12月末

名物と利益

新たな名物を作り、誰もが1日楽しめる施設で、利益も出してほしい。
久保孝一さん(下小川)

この状況下、今の施設を最大限に生かし、工事の時期を一考することも大切では。
小杉志津子さん(錦町)

一考も

整備費と維持管理費を含む国・県からの交付金等を除いた町独自財源

島田町長が推進する 道の駅リニューアル に向けて
力強い姿勢が反映されました

Q 「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現を目指し、大野埼玉県知事が肝いりで進めている埼玉版スーパーシティ・プロジェクトだが、当町ではどのような事業となるのか。

A 具体的には、「道の駅」や「東小川住宅団地内の学校跡地」の再整備等の事業において、にぎわいの創出を目的とし、観光拠点や地域の住民の交流の場として、魅力の向上を図ることで持続可能なまちづくりを目指すものです。今後とも県と連携し、また、支援を受けながら事業の展開を図っていきたいと考えます。

スクールバスの利活用

Q 歳入において、旧小川小学校の児童一人が、星の子学童クラブ(東小川団地内)に通うためのスクールバス代が示された。算出の根拠は。

A 当スクールバスは、あくまでも、旧東小川小学校の児童の通学のために運行しているもので、「乗せてよいものか」や「乗せる場合の負担額」などについて、様々な協議がありました。しかし、今回月額1000円としたことの積算根拠はありません。今後、この費用負担等は再検討します。

月額1000円の11か月分で1万1000円

令和4年度一般会計補正予算
小川町版 スーパーシティ・プロジェクト



さきの町長選挙と町議会議員補欠選挙を経て、装いを新たに迎えた令和4年第2回定例会。早速、島田町長が推進する事業に関連した一般会計補正予算など全14議案が示されました。次ページにかけて、賛否が分かれた注目議案のやり取りをお知らせします。



議員が質した 聞いてわかった
私たちの町、どうなってる？



発言全文(小川町議会会議録)は9月中旬から議会ホームページで閲覧できます。

迎えた初議会を振り返って

島田 新町長に突撃インタビュー!!

point

何が一番必要？

Q 「町の活性化」を実現するために、何が一番必要だと思いますか。

A (町長) 自ら動き思いを伝え、トップセールスマンとして人を大切にしながらリーダー性を発揮することです。そして人の流れを町に呼び込むことです。

道の駅リニューアル はその一つで、これは私の選挙公約でもあります。

生活の変化は？

Q 就任して、生活に変化はありましたか。

A (町長) これまでとは全く違う生活パターンになりました。畑仕事や東中陸上部の朝練は難しくなりましたが、ママさんバレーについては折を見て、また指導に行きたいです。

おすすめの場所は？

Q 町内のおすすめスポットと、好きな場所はどこですか。

A (町長) よく散歩に行っている四津山ですね。坂が急ですが天気がよいとスカイツリーも見え、

初日の出にはたくさんの方が来られます。

好きな場所は、京都の鴨川を連想させる板本親水公園です。飛び石はとても風情がありますね。

自己採点!!

Q いろいろな意味で議場の景色が変わったと思います。就任間もないところでの議会対応について感想と自己採点をお願いします。

A (町長) 議員の時とは別な意味での緊張感があり、答弁の難しさを感じました。自分の気持ちは伝えられたという意味で、自己採点は70点です。

町民との関わりは？

Q 町民との関わり、開かれた町長室を望むところですが、お考えは。

A (町長) 町長を目指す中で、町全体を回ったことは、私の財産だと思っています。その時にお聞きした問題点を確認し、副町長とタッグを組み、全職員としっかりと取り組みたいと思います。

7月8日、島田町長に編集委員会から突撃インタビューを行いました。



町長のプロフィールはこちら!!
(小川町ホームページ)

※撮影時のみマスクとパーテーションは外しております。

おがわがわ No.104 2022.9.1発行



まちづくり さらなる環境 政策の推進を

答弁 適切な予算や人員配置を行います

Q ゼロカーボンシティ・カーボニュートラルの実現に向けて、さらなる環境政策の推進を望むが、
A 政策推進課長ほか 町の第2次環境基本計画や地球温暖化対策実行計画（区域・施策編）の取組を推進し、温室効果ガス削減目標の達成を目指します。また、森林循環を目指した木材の需要増大と、森林等の吸収源対策としての木質バイオマスの利活用や、里山再生事業等を実施し、荒廃した森林の経営管理を実施していきます。それら事業の進捗などに併せて、適切な予算や人員配置を行っていきます。



豊かな環境資源を生かして「復活」を

Q 地区民体育祭の在り方は、
A 生涯学習課長 開閉会式の簡略化や昼食なしの半日開催、種目の見直しなどを議論し、新しい生活様式に対応した持続可能な大会の開催を考えています。
Q 和紙マラソン大会の在り方は、
A 生涯学習課長 第30回大会を開催する方向で準備を進めています。ウィズコロナに対応した新たな小川和紙マラソン大会の在り方を検討しなければなりません。
Q 町民は、コロナ禍にあっても、町のスポーツ全体を牽引していくような大会となるよう期待しているが、
A 生涯学習課長 感染防止対策を講じる中でも、町のよさを知ってもらえる大会を目指し、関係者



今年こそ、多くのランナーを



ウィズコロナ 地域や学校行事の在り方は

答弁 新たな取組や展開を検討しています

と検討を続けていきます。
Q 学校行事や修学旅行に対する支援等は、
A 学校教育課長 小中学校の修学旅行では、1人5000円を補助し、感染防止対策として、バスの台数や宿泊先の部屋数を増やすなどの費用に充てています。また、中止等によるキャンセル料の支払いに充当することも可能です。

令和8年度に平成25年度比で24%以上の削減

感染者数の拡大により、小川地区は半日開催、大河・竹沢・八和田地区は中止を決定

前日の七夕竹飾りの準備と片づけに行きました。学生が多かったと感じました。(O・Sさん 16歳)



遊休農地 農業振興地域 内での面積は

答弁 荒廃農地は約128ヘクタールです

Q 第5次総合振興計画には「優良農地や積極的な営農が行われている農地は、その保全を図る」とある。町内全農地に対する農業振興地域内の農地面積はどの程度か。
A 環境農林課長 農業振興地域の面積は約3700ヘクタールで、そのうち農地面積は約810ヘクタールです。町内の全農地面積は約860ヘクタールなので、町内全農地に占める農業振興地域内の農地面積は、約94%となります。
Q 農業振興地域内の遊休農地の割合は、
A 環境農林課長 荒廃農地は約128ヘクタールで、農業振興地域内の農地面積810ヘクタールの約15・8%となります。
Q 総合振興計画には「町の活力を高め、雇用創出につながる工業・



かつては営農が盛んだった農地



投票率向上 世代間での1 票の格差は

答弁 格差の傾向が見られる状況です

Q さきに執行された町長選挙並びに町議会議員補欠選挙について、有権者の投票行動における特徴や傾向などは、
A 総務課長 若年層は人数が減り、投票率も低くなっています。一方で、高齢層は人数が増え、投票率も高い状況です。
Q 世代間における1票の格差は存在すると捉えているか、
A 総務課長 標準的な地区を例に投票率を見ると、全年齢層による投票率55・6%に対し、若年層は27・5%、高齢層は70・2%で、世代間に大きな差が見られます。「世代間における1票の格差」が存在するのではないかとといった議論に結びついているものと捉えています。
Q 若年層の投票率向上につなげ



期日前投票所（共通投票所）リリック

る取組などの対策は、
A 総務課長 18歳となり選挙権を得た方にリーフレットを送付しています。また、成人式では啓発物を配布し、投票を呼びかけています。
Q スーパーマーケット等を共通投票所として活用できないか。
A 総務課長 国の動向等を注視していきたいと考えます。

普段とは雰囲気ガラッと変わり、あんな賑やかな小川町が見られて嬉しかったです。(N・Nさん 34歳)

コロナ禍以前の活気が戻ったようで懐かしくもあり、飲食ブースを分けるといった新しい時代も感じるお祭りでした。(K・Rさん 20代)



小川町議会だより

見出しにコダワル！

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

つづく！



かさはらのりひろ
笠原規弘議員
が町に問う！

町の将来構想

Q 北口開設に向けた「灯」を絶やすことのないよう、事業の進捗を期待するが。

A 町長 財源が最も大きな課題となつていきます。まずは人を呼び込み、収入を増やすため、町の活性化につながる道の駅の再整備を優先に取り組みます。

道の駅の周辺整備を

Q 国営ひたち海浜公園のネモフィラなど、花木の魅力が人を呼ぶ。仙元山見晴らしの丘公園における「花のまちづくり事業」を継続し、道の駅と連携した観光プロジェクトを研究してはどうか。

A 町長 仙元山は桜が咲き景観もよく、道の駅からも周遊できることから、見晴らしの丘公園のさらなる魅力向上に努めます。



駅北口開設と駅前ロータリーを

駅北口開設の取組は

答弁 道の駅の再整備を優先に取り組みます

Q 自治体の「運営」から「経営」に次世代に課題を先送りしないための財政状況を求めるが。

A 町長 町に人を呼び込み、収入をもたらす道の駅の再整備や企業誘致などを優先的に進めます。また、財政状況を踏まえ、一つ一つ課題に取り組んでいきます。



い が ら し や す ひ ろ
五十嵐康博議員
が町に問う！

パトリア施設

Q 休止から早2年。プールと浴室の施設転換について、どのような調査や検討が行われてきたのか。

A 長生き支援課長 他自治体や民間企業と意見交換を実施してきました。一方で、新たな課題として施設全体の空調設備に不具合が生じ、その更新には2億円規模の費用が見込まれている状況です。

Q その2億円にもなる更新費用の財源として、国や県からの補助などは期待できるのか。

A 長生き支援課長 これまで、バイオマスなどの環境系や、防災関連の補助金について研究してきたところです。更新を行う場合は、国等の補助金の活用は必須と考えているので、今後も研究を続けていきます。

Q 森林整備で発生している未利



転換を待っているパトリアのプール

プールと浴室の利用再開を

答弁 休止した経緯から難しいと捉えています

用間伐材等を活用した「木質バイオマス」の導入で、プールと浴室の再開を。

A 長生き支援課長 休止とした経緯から難しいと捉えています。しかしながら、休止した時点では予測できなかった新たな課題などへの対策も生じていますので、引き続き、適切な対応を検討していきます。



お お と ひ さ か ず
大戸久一議員
が町に問う！

町の活性化

急激な人口減少への対策は

答弁 人口動態調査等から効果的な取組に努めます

ントの企画等は。

A にぎわい創出課長 道の駅再整備は「手漕ぎ和紙と有機の里道の駅おがわまち」をコンセプトとし、多様な情報発信ができる「体験したい・楽しみたい・また来たい」施設となるよう計画しています。また、地域資源を活用し、体験型のイベントなどを企画・開催していきたいと考えています。



リニューアルを待つ道の駅



かさはらのりひろ
笠原英彦議員
が町に問う！

耕作放棄地

問い合わせ等の傾向は

答弁 雑草の繁殖に関する相談が最も多いです

プリム跡地のメガソーラー

Q 事業予定地内にある赤道の取扱いについて、その方針に変わりはありますか。

A 町長ほか 事業予定地内の赤道については、以前（前町長が）答弁したとおり「売払い及び賃貸はしない」という町の方針に変わりはありません。



発足「原川・笠原地区合同草刈り隊」

道の駅再整備

Q キッズコーナーや、町のPR動画等の情報発信する施設設備の充実を。また、施設周辺の遊休農地や空き家を活用し、農業の6次産業化や、体験型滞在型（農業・バーベキュー・宿泊など）のイベ



小川町議会だより

文字にコダワル！

高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します！



結果的に飲食の場所が密になり、旧街道が淋しかった。(O・Tさん 40歳)

つづく！



私は移住者なので初参加でしたが、思ったより人が多くて驚きました。祭り太鼓の迫力に感動。(Y・Hさん 42歳)



古くから道路として利用された土地のうち、道路法の「道路の敷地」とされず、そのまま残った公の土地



コロナ禍で縮小しての開催は仕方なかったと思う。ただ、ステージでのイベントは良かったです。(F・Aさん 16歳)



食べもののところが混んでいて、何も買えなかった。残念です。(T・Tさん 40歳)



設置条例の位置付け等は

答弁 地域住民の意向を反映する条例です

Q 上位法である県の林地開発に係る許認可と、町条例との関係・位置付けはどのようになるのか。

A 環境農林課長 県の林地開発の審査に際しては、開発行為が地域社会に種々の影響を及ぼすことから「地域住民の意向を反映した適正な判断を行うため、町長の意見を聞かなければならない」としています。

Q 町条例によって、事業者の開発ができなくなることで、裁判を起される可能性も考えられるが、見解は。

A 環境農林課長 太陽光発電事業が地域住民等の安全な生活や自然環境に影響を及ぼすことにより、地域住民との合意形成が図れない場合等は、町として反対の意向を示す場合もあります。これにより、



法面の崩れた大塚地内の太陽光発電事業所



公式チャンネルの工夫は

答弁 他自治体を参考に対応を進めます

Q 近年首都圏の中でも、住みやすい田舎として注目を浴びている小川町。当町の情報を公式に映像発信している場所であるのに、公式と記載していない理由はあるのか。

A 総務課長 公式チャンネル名は平成29年に特許庁に商標登録をした『和紙のふるさと小川町』を用いたものです。独占的に利用できる文言を活用し、町のPRを図ることとしています。

Q より多くの方に、チャンネルを視聴してもらうための工夫は十分に施されているか。

A 総務課長 町公式ホームページに公式チャンネルのリンクバナーの設定、町の広報誌等に二次元バーコードを掲載する等、デジタルと紙の双方からチャンネルへアクセスできるよう運用をしています。



町ホームページからの導入バナー



企業誘致の推進は

答弁 積極的に推進していきます

Q 企業誘致の推進の考えは。

A 農林業の振興に関する考えは、環境農林課長 生産環境の整備と担い手の育成に力を注ぎ、新たな農林業の展開を図ります。また、林業において労働環境の改善と経営基盤の強化に加え、木質バイオマスの利活用と森林環境譲与税を使つての森林整備を図ります。

Q 子育てしやすいまちづくりは。

A 子育て支援課長 妊娠前から子育て期の中で、切れ目のない支援体制の充実を図ります。また、町の施設を最大限活用して、保護者と子どもの交流と学びの場の創出や保育園等での子育て世代の負担軽減を図ります。



町内の工業団地



食の地産と自給力の向上を

答弁 農家の生産意欲の向上策を図ります

Q 穀物大国ウクライナが、ロシアによる侵略で輸出货量が減少し、世界に影響を及ぼしている。当町も農産物の地産と自給力の向上を。

A 環境農林課長 産業政策と地域政策とで支援し、農家の生産意欲の向上を図っていきます。

Q 設備の適正な設置及び管理に関する条例が施行されたが、抑制区域は「町内全域」とすべきでは。また、近隣で制限区域を町内全域と定めている自治体はあるか。

A 環境農林課長 他市町村の事例も考慮し、当町においては「土砂災害警戒区域」と指定しました。また、町内全域を抑制区域としている近隣自治体は、嵐山・鳩山・ときがわ・滑川・川島の各町です。



優良農地と優れた技術、今こそ生かす

Q コロナ禍の児童生徒対応

A 学校教育課長 目が行き届かない場面もあるかもしれませんが、副担任等の協力で問題なく対応しています。



小川町議会だより

写真にコダワル！

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。

暑いのに、人が集まったねえ。祭ばやしのお姉さんたち！カッコよかった！大成功！（H・Tさん 36歳）



久しぶりの祭り！この日を待っていました！やっぱり楽しいことがなくちゃさみしいわ〜。（A・Kさん 40歳）



とても楽しかった！開催出来て感無量。来年は例年通りできますように…。（O・Eさん 40代）



七夕まつりを楽しみに帰省しました。娘も浴衣デビューできて良かった。（K・Sさん 39歳）



Back to おがわぎかい No.103

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

小川町に
恩返しをしたい

たかはしももこ
高橋桃子さん
(稲荷町)
TAKAHASHI Momoko



前号の議会だより(No.103)で「読んでよかった」と思ったのは、どの記事でしたか？

一般質問のコーナーと、端々に寄せられている町の方々の声です。子どもたちも毎号「誰がいる？」とのぞきに來てくれます。身近に感じる話題も、普段は気づきにくい話題も、たくさんの写真と解説入りで分かりやすく、自分たちの住む町のことを考えるきっかけになっていると思います。

——議会だよりへ「ひとこと」！

小川町に越してきて9年目、これまでずっと町の方々に温かく迎え入れてもらい、支えていただきました。自分にできることは小さなことばかりですが、少しずつでも小川町に恩返しができるようになりたいです。これからいろいろな声が伝わる議会だよりを受け取っていきたいです。

高橋さんイチオシの
記事はP.14～の「一般質問」



Gikai's comment 議会では、多くの議員がテーマを決めて一般質問に臨んでいます。会議録も御一読ください。

わたしのコメント

町民の声、「聴きます×つながります」

だから 小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

小川のワ

きしまだいすけ
木島大介さん
(青下畑中)
KIJIMA Daisuke

私も妻も、生まれも育ちも生粋の小川っ子。そんな私達が感じているのは、人の輪の強さや温かさ。

息子が所属している



サッカーのスポーツ少年団は指導者・保護者・子どもたちの関係もよく、現役Jリーガーも来訪してくれる。これは団の輪の強さを表していると思います。私自身も町内のソフトボールチームに所属しており、そこでも人とのつながりの輪を広げさせていただいています。子どもたちが通っている小学校にも、同級生や先輩後輩、かつての先生など大きな輪を感じることができます。小川町で暮らしていて、人の輪に触れ、笑いあい、和気藹々と生活できるこの色々な「ワ」を、これからも大事にしていければと思います。

次の定例会は

9月1日(木)～

午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ

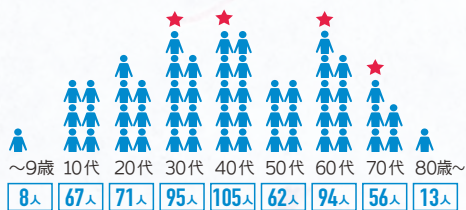


議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ 571人
(★印は今号取材)

※No.80以降の合計人数



補欠選で2人の新議員が誕生

5月22日投開票の小川町議会議員補欠選挙で、2人の新議員が誕生しました。任期は、令和4年5月22日から令和5年9月4日です。

鈴木秀尚議員(厚生文教常任委員会)

稲村壤治議員(経済建設常任委員会・議会広報発行特別委員会)

・今号の表紙・

受け継がれていく歴史と伝統

戦後間もない1949年、和紙の普及を図るためにスタートした七夕まつり。感染症対策を徹底し無事に終え、来年へと受け継がれていく。



編集後記 議会報は、まず「町民の皆さんに読んでもらうこと」を最大の目的に、多くの研修と専門家の指摘を受け、創意工夫や議論の上に編集しています。今後も「町民の皆さんにとって身近な議会報」になるよう努めます。御意見をお寄せください。(山口)

発行責任者：小川町議会議長 山口勝士

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子

委員 高瀬 勉・笹本孝幸・五十嵐康博

稲村壤治



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています